

広報特別委員会記録

令和6年2月22日

【開催日】 令和6年2月22日（木）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時17分～午後1時28分

【出席委員】

委員長	恒松恵子	副委員長	古豊和恵
委員	岡山明	委員	福田勝政
委員	松尾数則	委員	矢田松夫

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

局次長	中村潤之介	庶務調査係書記	若野みちる
-----	-------	---------	-------

【付議事項】

- 1 令和6年度中学生を対象とした本会議傍聴について
- 2 その他

午後1時17分 開会

恒松恵子委員長 広報特別委員会を開会いたします。本日の付議事項は、令和6年度中学生を対象とした本会議傍聴についてです。まず初めに、資料1を御覧ください。令和6年度中学生を対象とした本会議傍聴について、でございます。目的については議会に関心を持ってもらうということと、議会の広報活動をするということを中心に考えております。資料の中の実施内容でございます。左側に令和5年度の実施した内容、右側に令和6年度の予定について記載しております。実施日は未定で6月定例会、場所は市議会議場、対象者は市内の中学校3年生、傍聴内容は一般質問、移動方法はマイクロバスとトヨタハイエースで行います。事前資料につきましては現在未定ですが、去年の資料については御用意しております。そのほか、アンケート調査、意見交換会は行いますが、内容については

後日詰めるということ。あとは中学校など関係機関と協議して行うように考えております。皆様、これについて御質疑はございませんか。

松尾数則委員 広聴特別委員会での話だったかどうかは覚えていませんが、今回は2校という話はございませんでしたか。

恒松恵子委員長 できれば2校で行いたいとは思っておりますが、これについては中学校などの関係機関の都合がございますので、関係機関と調整して決めていきたいと思っております。なるべく2校でできるようにはしたいと思っております。そのほか何かございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、令和6年度の中学生を対象とした本会議傍聴について実施する方向で進めてまいりたいと思っておりますので、皆様御協力をお願いいたします。資料につきまして、「山陽小野田市議会へようこそ」というパワーポイントの資料がありますので、この資料に基づいて、私ども議会の内容を中学生にお知らせしていきたいと思っております。では、付議事項1の中学生を対象とした本会議傍聴については今年度6月議会で実施する方向で考えたいと思っております。アンケートや意見交換会については、また精査して内容を詰めていく方向でまいります。それでは、次のその他ですが、何か御意見はございますか。

岡山明委員 ちょっとよく分からないので発言したらいけんでしょうけど、今回の傍聴ですね。今、ふるさとのほうが中学生の市議会も年に1回程度開催していますね。その辺との絡みは、やっている団体が違うんでしょうけど、今回は傍聴、年に1回、市議会として中学校3年生を集めてやっている。その辺の連携といったらおかしいけど、単独で考えるという形なんですか。私は、市議会とこの傍聴という、同じ中学校3年生クラスを推進するという状況があるから、くっつけるのはどうかなと、今一瞬思いました。その辺はどう考えられるかお聞きしたいんですけど、考えないほうがいいですか。

若野議会事務局庶務調査係書記　今、岡山議員が言われているのは、ふるさとづくり協議会が主体の中学生市議会のことを指していると思います。中学生市議会と今の広報特別委員会が主で行おうとしている中学生を対象とした本会議の傍聴を一緒にということですか。（発言する者あり）そもそもなんですが、まず市議会、広報特別委員会としては、今回の実施する目的はあくまで広報活動として中学生に本会議を傍聴してもらうということが目的となっております。学校側に受入れていただかないといけないので、学校側の目的としては主権者教育です。時期は6月定例会に実施する予定ですが、学校側と調整して6月定例会になりました。中学生市議会が7月から8月頃、夏休みの期間に実施されると聞いておまして、その前に一度傍聴なり中継視聴して、次の中学生市議会に向けて中学生も準備ができるということで、お互いの目的が一致したので、令和5年度から実施しようという流れになっております。以上です。

岡山明委員　それで今一つの考え方として、中学校がふるさとづくり協議会のほうで中学校市議会やると。極端な話、中学生市議会の傍聴じゃないけど、よその中学校じゃないけど、全校の市内の中学校代表者とともに、今後、中学生も一緒に傍聴席に——一緒に議員としてやる状況と、傍聴する形の同時進行もどうかなと個人的に思ったんです。その辺の状況が考えられるかなと。私も分からんもんですから、それを皆さんに、可能性としてあるんなら、そういう形も今後検討していただきたいと思うんですけど。

矢田松夫委員　それぞれ組織の目的が違うんだから。市議会の目的は若野さんが言われたようなことだから。それを一緒に考えたり、一緒に議論すること自体が無理です。よそのことはよそのことだからいいんです。言うちゃいけんわけ。だから、市議会はどうするかは今決めたとおりでいい。議論の余地がないと僕は思う。

中村議会事務局次長　若野が言ったことの一部繰り返しになるかもしれませんが

けれども、学校側の主権者教育の目的があって、議会広報とマッチしたのがまず一つ。時期的には、学校の教育課程の中で、この時期がちょうどよかったというのが、もう1個あります。それとプラスして、先ほどのふるさとづくり協議会が夏休みにされている中学生議会。事前に議会が行っている、この広報活動のうちの一つ、中学生による議会傍聴、これがその前にあったら流れとしてもいいねというお話は教育委員会からも聞いております。ただ、後は矢田委員がおっしゃったように、それを両方うちが議論するのはやはり難しいと思いますので、そこの詰めの話はそれぞれできると思いますけど、向こうの話をそこでうまくくっつけるのは、やはりここでは少し難しいのではないかなと思います。

矢田松夫委員　それで、さっき恒松委員長がさらっと流しちゃったけど、2校にするか1校にするかは、別に向こう下駄を預けるだけですか、教育委員会に。

恒松恵子委員長　大体、最大の傍聴人数を、一般傍聴者も入られますので、こちらが指定すると学校に負担をかけますので、今後協議して進めていく方向でいきたいと思っております。

矢田松夫委員　最低1校だけど、2校に増えるものも全部向こうに任せるということですか。

恒松恵子委員長　そうですね。バスも2台用意していますから、（「ここで議論でもいいな」と発言する者あり）2校でも大丈夫かと思えます。こちらが指定するわけにはいかないという事情を御理解ください。岡山委員のおっしゃったように、やはり中学生議会とはちょっと趣旨が違うので、広報特別委員会としては議会の広報活動を目的として進めておりますので、今の矢田委員の発言、事務局の発言も踏まえて進めていきたいと思っております。そのほか何かございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それではないようですので、以上で、広報特別委員会を閉じます。お疲

れさまでした。

午後 1 時 2 8 分 散会

令和 6 年（2024 年） 2 月 2 2 日

広報特別委員長 恒 松 恵 子